市】 がん検診 (肺がん) チェックリスト 検診機関別回答一覧	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 12	13	14	15	16	17	18	19 20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30 3	31
	医療法人社団峰明		医療法人 社団扇心	医療法人 社団幸樹	ユ <b>っ</b> わかね ;	公益財団へ	トルスケア	医療法人 性団 福   医	医療法人	11内部 いな	により と療法 はまれる ままれる ままれる これ これ ままれる これ	人 かんたけ	ける。一般もサラノ	/ I-∧ I N₩	医療法人 社団千葉 白報会 総 **	<sub>5 自 内 科</sub>   山	医療 社団内科 社団	創進 医療法	去人 医療法人	   	1	たかれた医	<b></b>	<b>ቊ≠</b> 力Ⅱ	龙周珍庵	小倉台柏	千 中林内科 学	-葉県勤	トンで内
診者への説明(検診の際、あるいはそれに先立って受診者全員に対して行う説明)	社団峰明 会	石渡内科	社団扇心 会 幕張マ リブクリニッ	会おゆみ <sup>の</sup> のクリニッ	か コれ ロック   リニック   リニック   リニ	公益財団 へ 法人ちば !! 県民保健 リ 予防財団	リーック 増 川島内科・樹 婦人科	生会 斎   牡 寒労災病   紫 陰	M	医院 岸ク	では アリニッ ク	条 内科クル プ ニック	クリニック	外科	ロ戦云 極 ま 合クリニッ クドクターラ	医院	外科クリ 台 ニック	* 10   社団	A   A   A   A   A   A   A   A   A   A	■   丁桌中外 だ   外科内科 記	・ ラガ町診   療所	なかむら医院 院	<sup>本</sup> 小渋医院	般若クリニック	所	アクリニッ 「 ク 	クリニック 協	F葉県勤 対者医療 しょ 協会 稲 ** 記診療所	科 A
			0	0	0	0	0		0	0	0 0	Δ	0	0	ンド幕張 ○	0	型セ	ンター ○ ○	0	0	0	0	0			0	0	0	$\bigcirc$
・/ 2) 精密検査の方法について説明しましたか(精密検査はCT検査や気管支鏡検査により行うこと、及びこれらの検査の概要など)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	Δ	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0
・		0			$\circ$	0	0	0	$\cap$	0					0	0	0	0 0										×	
※精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村や検診機関に対して提供可能(個人情報保護法の例外事項として認められています)  検診の有効性(胸部エックス線検査及び喫煙者への喀痰細胞診による肺がん検診は、死亡率減少効果があること)に加えて、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、た	デん -																												
4) がなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること(偽陽性)など、がん検診の欠点について説明しましたか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	Δ	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
5) 検診受診の継続(毎年)が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しましたか 6) 肺がんがわが国のがん死亡の上位に位置することを説明しましたか		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	Δ	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	$\triangle$	0		×	0
7) 禁煙及び防煙指導等、肺がんに関する正しい知識の啓発普及を行いましたか	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	Δ	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
引(問診)、及び撮影の精度管理 検診項目は、質問(医師が自ら対面で行う場合は問診)、胸部エックス線検査、及び質問の結果、50歳以上で喫煙指数(1日本数×年数)が600以上だった者(過去における喫煙者を含む)への	喀			T																T									
	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0		0 0		0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ
質問(問診)では喫煙歴、妊娠の可能性の有無を必ず聴取し、かつ、過去の検診の受診状況等を聴取しましたか。  また最近6か月以内の血痰など自覚症状のある場合には、検診ではなくすみやかに専門機関を受診し、精査を行うように勧めましたか**  ※有症状者がいなかった場合は、診療へ誘導するルールが予めあれば○と回答してください。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3) 質問(問診)記録は少なくとも5年間は保存していますか 4) 肺がん診断に適格な胸部エックス線撮影、すなわち、放射線科医、呼吸器内科医、呼吸器外科医のいずれかによる胸部エックス線の画質の評価と、それに基づく指導を行いましたか <sup>注1</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0		<ul><li>Ο</li><li>Ο</li><li>Δ</li></ul>	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	O ×	0	0	O ×	0
・/ 肺がん診断に適格な胸部エックス線撮影、すなわら、放射線科医、呼吸器内科医、呼吸器外科医のいすれがによる胸部エックス線の画質の評価と、それに基づく指導を行いましたが 撮影機器の種類(直接・間接撮影、デジタル方式 <sup>※</sup> )、フィルムサイズ、モニタ読影の有無を仕様書 <sup>※※</sup> に明記し、日本肺癌学会が定める、肺がん検診として適切な撮影機器・撮影方法で撮影しましたか <sup>注2</sup>	= 0													0														^	
(大学) ※デジタル撮影の場合、日本肺癌学会が定める画像処理法を用いることを指します。 ※※仕様書とは委託元市区町村との契約時に提出する書類のことを指します。(仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していればよい)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		Ο Δ	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
・貴施設(もしくは医師会等)が仕様書に明記した撮影機器・撮影方法が学会の方針に準じており、かつ、貴施設が仕様書内容を遵守している 場合に○と回答してください。																									1				
胸部エックス線検査に係る必要な機器及び設備を整備するとともに、機器の日常点検等の管理体制を整備しましたか   エックス線 読影の精度管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
) 自治体や医師会から求められた場合、読影医の実態(読影医の氏名、生年、所属機関名、専門とする診療科目、呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科医師の場合には専門科医師としての経験年数、 肺がん検診に従事した年数、「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会 <sup>注3</sup> 」の受講の有無等)を報告していますか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
読影は二重読影を行い、読影に従事する医師は下記の要件 <sup>※</sup> を満たしていますか ※読影医の要件 ・第一読影医:検診機関などで開催される「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会 <sup>注3</sup> 」に年1回以上参加していること																													
・第二読影医:下記の1)、2)のいずれかを満たすこと 1)3年間以上の肺がん検診読影経験があり、かつ検診機関などで開催される「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会 <sup>注3</sup> 」に年1回以上参 加している	0	0	0	0	0	0	0	0	×		0 0	0	0	0	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	×	$\circ$
2)5年間以上の呼吸器内科医、呼吸器外科医、放射線科医のいずれかとしての経験があり、かつ検診機関などで開催される「肺がん検診に関す る症例検討会や読影講習会 <sup>注3</sup> 」に年1回以上参加している																													
2名の読影医のうちどちらかが「要比較読影」としたもの <sup>※</sup> は、過去に撮影した胸部エックス線写真と比較読影しましたか ※二重読影の結果、「肺がん検診の手引き」(日本肺癌学会肺がん検診委員会編)の「肺がん検診における胸部 X 線検査の判定基準と指導区 分」の「d」「e」に該当するものを指します。	0	0	0	0	0	0	0	Δ	0		0 0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
比較読影の方法は、「読影委員会等を設置して読影する(あるいは読影委員会等に委託する)」、「二重読影を行った医師がそれぞれ読影する」、「二重読影を行った医師のうち指導的立場の 師が読影する」のいずれかにより行いましたか	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\circ$
シャウカステン・読影用モニタなどの機器に関しては、日本肺癌学会が定めた基準等に従いましたか <sup>注 2</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
) 読影結果の判定は「肺がん検診の手引き」(日本肺癌学会肺がん検診委員会編)の「肺がん検診における胸部 X 線検査の判定基準と指導区分」によって行いましたか ※地域保健・健康増進事業報告の要精検者はE判定のみです。	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0 0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\circ$
胸部エックス線画像は少なくとも5年間は保存していますか 胸部エックス線検査による検診結果は少なくとも5年間は保存していますか	0	0	0	0	0	0	0				0 0			0				0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細胞診の精度管理																													
細胞診の業務を委託する場合 <sup>**</sup> は、その委託機関(施設名)を仕様書等 <sup>***</sup> に明記しましたか ※業務を委託していない場合は回答不要です。			_		_		0		$\circ$	0	- 0	-										-						$\circ$	$\bigcirc$
) 回答欄にハイフン(-)を入力してください(空欄にしないでください)。 ※※仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していれば可です。			-		-																								O
医師会が仕様書を作成している場合は、医師会の仕様書を確認して回答してください。	0	0	-	0	-	0	0	0	0	0	- 0	-	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-
<ul><li>) 固定標本の顕微鏡検査は、公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して行いましたか<sup>注4</sup></li><li>) 同一検体から作成された2枚以上のスライドは、2名以上の技師によりスクリーニングしましたか</li></ul>	0	0	-	0	-	0	0			0	- 0	-	0	0	0				0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-
がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行いましたか <sup>※</sup>																													
)    ※がん発見例については必ず見直しを実施してください。 またがん発見例が無い場合でも、見直す体制があれば○と回答してください。	0		-	0	-	0	0	O	0	0	-	-	O	O	O	0	×	0 0		O		-	O				0	O	-
() 標本は少なくとも5年間は保存していますか         () 喀痰細胞診検査結果は少なくとも5年間は保存していますか	0	0	-	0	-	0	0	_	_	0	- 0	-	0	0		0	×	0 0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-
アードを放布配影使量和来は少なくとも5年間は保存していますが アムとしての精度管理	0	0	-				0	0	0	0						0	×	0   0											
) 受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内 <sup>※</sup> になされましたか ※市区町村を介して受診者に結果を通知する場合は、市区町村に遅くとも4週間以内に通知していれば○です。	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ	0	Ο Δ	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がん検診の結果及びそれに関わる情報 <sup>※</sup> について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか ※地域保健・健康増進事業報告(注5)に必要な情報を指します。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
精密検査方法及び、精密検査(治療)結果 <sup>※</sup> (診断、治療方法、手術所見、病理組織検査結果など)について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めましたか ※地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指します。	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0 0	0	0	0	0	0	Δ	0 0	0	0	0	0	0	0			0	0	$\circ$
大大名の作品を表現という。     検診に従事する医師の胸部画像読影力向上のために「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会 <sup>注3</sup> 」を年に1回以上開催していますか。もしくは、他施設や都道府県単位、あるいは日本肺癌性 会等が主催する胸部画像の読影に関するセミナー・講習会 <sup>注3</sup> を年に1回以上受講させていますか	<i>‡</i>	0	0	0	Δ	0	0	Δ	×	0	0 0	0	0	0	Δ	0	0	0 0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	$\circ$
内部精度管理として、検診実施体制や検診結果の把握・集計・分析のための委員会 (自施設以外の専門家 ※を交えた会)を年に1回以上開催していますか。もしくは、市区町村や医師会等が設置し同様の委員会に年に1回以上参加していますか  ※ 当該検診機関に雇用されていないがん検診の専門家や肺がん診療の専門家などを指します。	) tc	0	0	0	Δ	0	0	0	×	0	0 0	0	0	0	×	0	×	0 0	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	×	0
自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しましたか <sup>※</sup> ※・本調査では <mark>令和2年度のプロセス指標値</mark> について回答してください。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	Δ	0	×	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0
・貴施設単独で算出できない指標値は、自治体等と連携して把握してください。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可です。  プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っていますか。あるいは、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めていますか	HT O	0	0	0	0	0	0	0	0		0 0	0	0	0	0	0	×	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0
1~5の合計																													
回答(O,×)項目数	35	35	28	35	25	34	35	33	34	35 2	28 32	20	35	35	33	35	33 3	35 35	5 35	31	35	28	35	35	28	35	34	35 2	28
実施(〇)の項目数	35	35	28	35	25	34	35	33	31	35 2	28 32	20	35	35	32	35	27	35 35	5 35	31	35	28	35	35	27	35	34	28 /	28
) 未実施(×)、実施予定(△)	0	0	0	0	3	0	0	2	4	0	0 3	8	0	0	3	0	8	0 0	0	3	0	0	0	0	8	0	1	7	1
) 調査対象外(一)の項目数	0	0	7	0	7	1	0	0	0	0	7 0	7	0	0	0	0	0	0 0	0	1	0	7	0	0	0	0	0	0	6
	i		1	ı	1	•	•	•	•	-	•					•		•			ı	1	·	1	' '	•	1		

【千葉市】 - ** / +☆=◇ /0++** / <b>) エーッ・ケ</b> リフレー +☆=◇+**8880リロタケーを	33	34	35	36 37	7 38	3 3	39 40	41	42	43	44	45	46	47	48 49	50	51	52	53	54	55 5	56	57	58	59 60	) 61	62	63	64 6	65 66 67
がん検診(肺がん)チェックリスト 検診機関別回答一覧				医療法人 - * .	h./	医療	·····································					石床法!	医療法人	.,																医療法人 医療法内科医
1 平於去。の説明(検診の際 まていけてわに生立って平於去人界に対して行き説明)	八木内科 小り クリニック	関医院	林医院	<ul><li>医療法人 すうたも</li></ul>	アメリー 高品内 ルク 医院 パク 医院	̄  整形	若葉 医療法	へ   新   坂口医院 記	院 幕張べる	イク ガ瀬並木 道クリニッ ク	こもだクリ = = ================================	医療法人 緑栄会 三愛記念 そがクリ	医療法人 緑栄会 やる 三愛記念 - 病院	まもとクリ 寺 ニック ニ	医療法 田クリ 社団普 ニック 会 井 <sub>-</sub> 記念病	↑ (医)社団 照 病真会 上 古川医院 院 古川医院	医療法人 社団正心 会正岡クリニック	呼吸器内科	稲毛病院	久保田医 沼野院 科	野胃腸 香口  内科   ク	リニッ ク 	)きが丘               	村クリ 関格	根整形   T 県   料医院   メディ: センタ	カル 西千葉 カル 形外科	整   深浦内和 	十 千葉内科 ひろ リニック リニ	内科ク 林内ニック	「別イム   BlueBird   会 報: 院   青い鳥クリ 千葉診
1. 受診者への説明(検診の際、あるいはそれに先立って受診者全員に対して行う説明) (1) 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があること(喀痰細胞診で要精密検査となった場合は、喀痰細胞診の再検は不適切であることなど)を明確に説明しましたか	0	0	0	0 0	0	クリニ	=ック ○	0	0	0	0	ニック	0	0	0 0	0		0	0	0	0 (	$\circ$	0	0	0 0	0	0	0	0	ニック千葉所
(1) 実際出版量とありた場合には、多り標面版量と交換の多数であるとと、自然構造的で支援をは、自然構造的の特別では、自然構造的の特別であるととなどがある。 (2) 精密検査の方法について説明しましたか(精密検査はCT検査や気管支鏡検査により行うこと、及びこれらの検査の概要など)	0	0	0	0 0	0				0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0 (	0	0	0	0 0	0		0	0	0 0 0
(C) 精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しましたか <sup>※</sup>																														
(3) ※精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村や検診機関に対して提供可能(個人情報保護法の例外事項として認められています)  (4) 検診の有効性(胸部エックス線検査及び喫煙者への喀痰細胞診による肺がん検診は、死亡率減少効果があること)に加えて、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がん				0 0											0 0			O							0 0					0 0 0
(4) がなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること(偽陽性)など、がん検診の欠点について説明しましたか	0	0	0	0 0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	×	0	0	0 (	0	0	Δ	0 0	0	0	0	0	0 0 0
(5) 検診受診の継続(毎年)が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しましたか $(6)$ 肺がんがわが国のがん死亡の上位に位置することを説明しましたか	0	0	0	0 0	0			0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	Δ	0	0	0 0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	<ul><li>Ο</li><li>Ο</li><li>Ο</li><li>Δ</li></ul>
(7)     禁煙及び防煙指導等、肺がんに関する正しい知識の啓発普及を行いましたか	0	0	0	0 0	0		0 0	×	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0 (	0	0	Δ	0 0	0	0	0	0	0 0 0
2. 質問(問診)、及び撮影の精度管理 検診項目は、質問(医師が自ら対面で行う場合は問診)、胸部エックス線検査、及び質問の結果、50歳以上で喫煙指数(1日本数×年数)が600以上だった者(過去における喫煙者を含む)への喀											T																	T		
(1)    痰細胞診としましたか <sup>※</sup>   ※質問は必ずしも対面による聴取で実施する必要はなく、受診者に自記式の質問用紙を記載させることをもって代えることができます。   また、加熱式タバコについては、「カートリッジの本数」を「喫煙本数」と読み替えます。	0	0	0	0 0			0		0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	$\supset$	0	Δ	0 0	0	0	0	0	
質問(問診)では喫煙歴、妊娠の可能性の有無を必ず聴取し、かつ、過去の検診の受診状況等を聴取しましたか。  (2) また最近6か月以内の血痰など自覚症状のある場合には、検診ではなくすみやかに専門機関を受診し、精査を行うように勧めましたか*  ※有症状者がいなかった場合は、診療へ誘導するルールが予めあれば○と回答してください。	0	0	0	0 0	0	(	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0 (	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0 0 0
(3) 質問(問診)記録は少なくとも5年間は保存していますか	0	0	0	0 0	0		0 0		0	0					0 0		0	0	0	0		0	0	0	0 0	0	0	0	0	0 0 0
(4) 肺がん診断に適格な胸部エックス線撮影、すなわち、放射線科医、呼吸器内科医、呼吸器外科医のいずれかによる胸部エックス線の画質の評価と、それに基づく指導を行いましたか <sup>注1</sup> 撮影機器の種類(直接・間接撮影、デジタル方式 <sup>※</sup> )、フィルムサイズ、モニタ読影の有無を仕様書 <sup>※※</sup> に明記し、日本肺癌学会が定める、肺がん検診として適切な撮影機器・撮影方法で撮影しま	0	0	0	0 0	×		0 0	0		0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0		0	0	0	0 0	0		0	0	0 0 0
した $n^{ ext{i}2}$																														
(5) ※デジタル撮影の場合、日本肺癌学会が定める画像処理法を用いることを指します。  ※※仕様書とは委託元市区町村との契約時に提出する書類のことを指します。(仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していればよい) ・ 書施設 (ましくは医師会等) が仕様書に明記した撮影機器・撮影方法が学会の方針に進じており、かつ、書施設が仕様書内容を遵守している	0	0	0	0 0	0			0	0	0		0	0	0		0	0		0	0			0	0		0	0		0	
・貴施設(もしくは医師会等)が仕様書に明記した撮影機器・撮影方法が学会の方針に準じており、かつ、貴施設が仕様書内容を遵守している 場合に○と回答してください。																														
(6) 胸部エックス線検査に係る必要な機器及び設備を整備するとともに、機器の日常点検等の管理体制を整備しましたか 3. 胸部エックス線読影の精度管理	0	0	0	0 0	0	(	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0 (	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0 0 0
(1) 自治体や医師会から求められた場合、読影医の実態(読影医の氏名、生年、所属機関名、専門とする診療科目、呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科医師の場合には専門科医師としての経験年数、	0	0	0	0 0	0		0 0	0	0	0	0	0	0	-	0 0	0	0	0	0	0	0 (	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0 0 0
・第一読影医:検診機関などで開催される「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会 <sup>注3</sup> 」に年1回以上参加していること ・第二読影医:下記の1)、2)のいずれかを満たすこと 1)3年間以上の肺がん検診読影経験があり、かつ検診機関などで開催される「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会 <sup>注3</sup> 」に年1回以上参加している	0	0	0	0 0	×	(	0	0	0	0	0	0	0	-	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	$\triangle$	0	0	O O A
2)5年間以上の呼吸器内科医、呼吸器外科医、放射線科医のいずれかとしての経験があり、かつ検診機関などで開催される「肺がん検診に関す る症例検討会や読影講習会 <sup>注3</sup> 」に年1回以上参加している																														
2名の読影医のうちどちらかが「要比較読影」としたもの <sup>※</sup> は、過去に撮影した胸部エックス線写真と比較読影しましたか  (3) ※二重読影の結果、「肺がん検診の手引き」(日本肺癌学会肺がん検診委員会編)の「肺がん検診における胸部 X 線検査の判定基準と指導区 分」の「d」「e」に該当するものを指します。	0	0	0	0 0	0	(	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0 (	0	0	-	0 0	0	0	0	0	0 0 0
(4) 比較読影の方法は、「読影委員会等を設置して読影する(あるいは読影委員会等に委託する)」、「二重読影を行った医師がそれぞれ読影する」、「二重読影を行った医師のうち指導的立場の医師が読影する」のいずれかにより行いましたか	0	0	0	0 0	0			0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0 0	0	0	0	0	
(5) シャウカステン・読影用モニタなどの機器に関しては、日本肺癌学会が定めた基準等に従いましたか <sup>注2</sup> または Rowling は、15 は、15 ないは、15 な	0	0	0	0 0	0		0 0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0 (	)	0	0	0 0	0	0	0	0	
(6) 読影結果の判定は「肺がん検診の手引き」(日本肺癌学会肺がん検診委員会編)の「肺がん検診における胸部 X 線検査の判定基準と指導区分」によって行いましたか ※地域保健・健康増進事業報告の要精検者はE判定のみです。	0	0	0	0 0	Δ	(	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0 (	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0 0 0
(7)       胸部エックス線画像は少なくとも5年間は保存していますか         (8)       胸部エックス線検査による検診結果は少なくとも5年間は保存していますか		0		0 0			0 0								0 0		0				0 0				0 0			0	0	0 0 0
4. 喀痰細胞診の精度管理 細胞診の業務を委託する場合*は、その委託機関(施設名)を仕様書等**に明記しましたか																														
一個におり来務を安託していない場合は回答不要です。	0	_	-		_				_						- 0			-				$\circ$			- 0				0	
※※仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していれば可です。																														
(2) 採取した喀痰は、2枚以上のスライドに塗沫し、湿固定の上、パパニコロウ染色を行いましたか	0	0	-	0 0	-	(	0 0	-	-	0	0	0	0	0	- 0	0	0	-	0	0	0 (	0	0	0		0	0	0	0	0 0 0
(3) 固定標本の顕微鏡検査は、公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して行いましたか <sup>注4</sup> (4) 同一検体から作成された2枚以上のスライドは、2名以上の技師によりスクリーニングしましたか	0	0	-	0 0	-		0 0	-	-	0	0	0	0	0	- O	0	0	-	0	0	0 0	0	0	0		0	0	0	0	0 0 0
がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行いましたか <sup>※</sup> (5) ※がん発見例については必ず見直しを実施してください。	0	0	-	0 0	_			_	_	0		0	0	0	- 0	0		-	0	0	0	$\circ$	0	-				0	0	0 0 0
またがん発見例が無い場合でも、見直す体制があれば○と回答してください。																														
(6) 標本は少なくとも5年間は保存していますか         (7) 喀痰細胞診検査結果は少なくとも5年間は保存していますか	0	0	-	0 0	-	(	0 0	-	-	0	0	0	0	0	- 0		0	-	0	0	0 0	0	0	0		0	0	0	0	0 0 0
5. システムとしての精度管理																														
(1) 受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内 <sup>※</sup> になされましたか ※市区町村を介して受診者に結果を通知する場合は、市区町村に遅くとも4週間以内に通知していれば○です。	0	0	0	0 0	0		0	0	×	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	×	)	0	0	0 0	0	0	0	0	0 0 0
(2) がん検診の結果及びそれに関わる情報 <sup>※</sup> について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか ※地域保健・健康増進事業報告(注5)に必要な情報を指します。	0	0	0	0 0	0			0	0	0		0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	$\supset$	0	0	0 0	0	0	0	0	
(3) 精密検査方法及び、精密検査(治療)結果 <sup>*</sup> (診断、治療方法、手術所見、病理組織検査結果など)について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めましたか  ***********************************	0	0	0	0 0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	Δ	0	0	0 (	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0 0 0
(4) 検診に従事する医師の胸部画像読影力向上のために「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会 <sup>注3</sup> 」を年に1回以上開催していますか。もしくは、他施設や都道府県単位、あるいは日本肺癌学会等が主催する胸部画像の読影に関するセミナー・講習会 <sup>注3</sup> を年に1回以上受講させていますか	0	0	0	0 0	×	(	0	0	0	0	0	-	-	-	0 0	0	0	0	0	0	0 0	)	0	0	0 0	0	0	0	0	0 0 0
内部精度管理として、検診実施体制や検診結果の把握・集計・分析のための委員会 (自施設以外の専門家*を交えた会)を年に1回以上開催していますか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した 同様の委員会に年に1回以上参加していますか ※当該検診機関に雇用されていないがん検診の専門家や肺がん診療の専門家などを指します。	0	0	0	0 0	×	(	0	0	0	0	0	×	×	0	0 0	0	0	0	0	0	0 (	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0 0 0
自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しましたか※  ※・本調査では全和2年度のプロセス指標値について回答してください。 ・貴施設単独で算出できない指標値は、自治体等と連携して把握してください。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可です。	0	0	0	0 0		(	0	0	×	0	0	×	×	0	0 0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	- 0	0	0	0	0	0 0 0
(7) プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っていま すか。あるいは、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めていますか	0	0	0	0 0	0	(	0 0	0	Δ	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0 (	0	0	0	Δ Ο	0	0	0	0	0 0 0
調査項目1~5の合計																														
(1) 回答(○,×)項目数		34		35 35	5 25		35				35	34	34		28 35			26	35	35		35	35	29	27 29	35	34	35	35 3	34 35 33
(2) 実施(○)の項目数	35	34	28	35 35	5 21	3	35	27	25	35	35	32	32	32	28 35	35	35	25	35	35	34 3	35	35	29	27 29	35	34	35	35 3	34 35 33
(3) 未実施(×)、実施予定(△)	0	0	0	0 0	7	(	0 0	2	3	0	0	2	2	0	0 0	0	0	3	0	0	1 (	0	0	3	1 0	0	1	0	0	1 0 2
(4) 調査対象外(一)の項目数	0	1	7	0 0	7	(	0 0	6	7	0	0	1	1	3	7 0	0	0	7	0	0	0 (	0	0	3	7 6	0	0	0	0	0 0 0
(5) 評価(未記入は×とみなします)	Α	Α	A	A A	В	/	A A	В	В	А	A	В	В	A	A A	A	A	В	Α	Α	В	А	Α	В	В А	A	В	А	Α	В А В
												<u> </u>			<del></del>					<del></del>										

上菜巾】	がん検診(肺がん)チェックリスト 検診機関別回答一覧	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	・ 宝	
		幸町中央	神田内科医院	一般社団 法人千葉 衛生福祉 協会千葉	ひらた内 科・小児科 クリニック	一一内科クリ	医療法人 社団都賀 内科クリ	舘野医院 けい科	よう内 <i>を</i>	矢澤内科 医院	近藤医院	らいむらク リニック	医療法人 社団松育 会むらまつ	ぴあーすク リニック	医療法人 7 社団信和 会 小泉 医院	医療法人 社団YNメ ディカル本	医療法人社団みうら	実 施 (O) 計	実施 海
	それに先立って受診者全員に対して行う説明)	12 ////	175	診療所			ニック						クリニック		医院	9F314	クリニック		
(1)	ず精密検査を受ける必要があること(喀痰細胞診で要精密検査となった場合は、喀痰細胞診の再検は不適切であることなど)を明確に説明しましたか	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	81	97.6%
(C) 特丽松木红田丛士区町村笠。招生。	したか(精密検査はCT検査や気管支鏡検査により行うこと、及びこれらの検査の概要など) 		0						0						0		0		
(3) ※精密検査結果は、個人の同意がな	くても、市区町村や検診機関に対して提供可能(個人情報保護法の例外事項として認められています) 査及び喫煙者への喀痰細胞診による肺がん検診は、死亡率減少効果があること)に加えて、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がん	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		79	95.2%
(4) がなくてもがん検診の結果が「陽性	生」となる場合もあること(偽陽性)など、がん検診の欠点について説明しましたか あること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しましたか	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	Ο Δ	79 79	95.2%
(6) 肺がんがわが国のがん死亡の上位に	に位置することを説明しましたか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ	0	×	74	89.2%
(7)   禁煙及び防煙指導等、肺がんに関す 質問(問診)、及び撮影の精度	ける正しい知識の啓発普及を行いましたか 管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ	78	94.0%
	 面で行う場合は問診)、胸部エックス線検査、及び質問の結果、50歳以上で喫煙指数(1日本数×年数)が600以上だった者(過去における喫煙者を含む)への喀																	77	02.00
※質問は必ずしも対面による聴取で	実施する必要はなく、受診者に自記式の質問用紙を記載させることをもって代えることができます。 「カートリッジの本数」を「喫煙本数」と読み替えます。	0	0		0	0			0		0	0	0	0			0	77	92.8%
	可能性の有無を必ず聴取し、かつ、過去の検診の受診状況等を聴取しましたか。 症状のある場合には、検診ではなくすみやかに専門機関を受診し、精査を行うように勧めましたか <sup>※</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	100.0
※有症状者がいなかった場合は、診療 (3) 質問(問診)記録は少なくとも5年	§へ誘導するルールが予めあれば○と回答してください。 間は保存していますか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	100.0
( )	泉撮影、すなわち、放射線科医、呼吸器内科医、呼吸器外科医のいずれかによる胸部エックス線の画質の評価と、それに基づく指導を行いましたか <sup>注1</sup>	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	79	95.2%
撮影機器の種類(直接・間接撮影、 したか <sup>注2</sup>	デジタル方式 <sup>※</sup> )、フィルムサイズ、モニタ読影の有無を仕様書 <sup>※※</sup> に明記し、日本肺癌学会が定める、肺がん検診として適切な撮影機器・撮影方法で撮影しま																		
(5)	会が定める画像処理法を用いることを指します。  約時に提出する書類のことを指します。(仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\triangle$	81	97.6%
ばよい) ・貴施設(もしくは医師会等)が仕様	書に明記した撮影機器・撮影方法が学会の方針に準じており、かつ、貴施設が仕様書内容を遵守している																		
場合に○と回答してください。 <ul><li>(6) 胸部エックス線検査に係る必要な様</li></ul>	幾器及び設備を整備するとともに、機器の日常点検等の管理体制を整備しましたか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	100.09
部エックス線読影の精度管																			
( ) 肺がん検診に従事した年数、「肺な	がん検診に関する症例検討会や読影講習会 <sup>注3</sup> 」の受講の有無等)を報告していますか	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80	98.8%
※読影医の要件	事する医師は下記の要件 <sup>※</sup> を満たしていますか																		
(2) ・第二読影医: 下記の1)、2)のいず:		0	0	$\triangle$	$\circ$	0	-	0	0	0	$\circ$	$\circ$	0	0	0	0	0	74	91.4%
加している	があり、かつ検診機関などで開催される「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会 <sup>注3</sup> 」に年1回以上参 最外科医、放射線科医のいずれかとしての経験があり、かつ検診機関などで開催される「肺がん検診に関す																		
る症例検討会や読影講習会 <sup>注3</sup> 」に気	F1回以上参加している																		
(3) ※二重読影の結果、「肺がん検診の	・比較読影」としたもの <sup>※</sup> は、過去に撮影した胸部エックス線写真と比較読影しましたか 手引き」(日本肺癌学会肺がん検診委員会編)の「肺がん検診における胸部X線検査の判定基準と指導区 たまします	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80	98.8%
( ZL )	等を設置して読影する(あるいは読影委員会等に委託する)」、「二重読影を行った医師がそれぞれ読影する」、「二重読影を行った医師のうち指導的立場の医	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0		0	0	0	0	81	100.09
(4) 師が読影する」のいずれかにより行	テいましたか 	0	0	0	0	0	-		0	0	0	0	0	0	0	0	0	82	100.09
(h)	F引き」(日本肺癌学会肺がん検診委員会編)の「肺がん検診における胸部X線検査の判定基準と指導区分」によって行いましたか W告の要精検者はE判定のみです。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ	81	97.6%
(7) 胸部エックス線画像は少なくとも5		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	100.0%
(8) 胸部エックス線検査による検診結果 <b>痰細胞診の精度管理</b>	<b>早は少なくとも5年間は保存していますか</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	100.0%
	その委託機関(施設名)を仕様書等 <sup>※※</sup> に明記しましたか																		
(1) 回答欄にハイフン (-) を入力して	てください(空欄にしないでください)。 その元市区町村に報告していれば可です。	0	0		$\circ$	0		0	0	0	$\circ$	$\circ$	0	0	0	0	0	70	100.09
( )	場合は、医師会の仕様書を確認して回答してください。 ドに塗沫し、湿固定の上、パパニコロウ染色を行いましたか	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	67	100.09
( - )	団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して行いましたか <sup>注4</sup> スライドは、2名以上の技師によりスクリーニングしましたか	0	0	0	0	0	-		0	0	0	0	0	0	0	0	-	67 67	100.09
がん発見例は、過去の細胞所見の見	見直しを行いましたか <sup>※</sup>	0	0		0	0	_		0	0	0	0		0			_	65	98.5%
	見直す体制があれば○と回答してください。						-				0		0				-		
<ul><li>(6) 標本は少なくとも5年間は保存して</li><li>(7) 喀痰細胞診検査結果は少なくとも5</li></ul>		0	0	0	0	0	-		0	0	0	0	0	0	0	0	-	66 67	98.5%
ステムとしての精度管理	たはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内 <sup>※</sup> になされましたか																		1 25 20
※市区町村を介して受診者に結果を	通知する場合は、市区町村に遅くとも4週間以内に通知していれば〇です。 情報 <sup>※</sup> について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	79	95.2%
(2) ※地域保健・健康増進事業報告(注5)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	100.09
(3) ※地域保健・健康増進事業報告に必要	要な情報を指します。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81	97.6%
$(\Delta L)$	ど力向上のために「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会 <sup>注3</sup> 」を年に1回以上開催していますか。もしくは、他施設や都道府県単位、あるいは日本肺癌学 関するセミナー・講習会 <sup>注3</sup> を年に1回以上受講させていますか	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	92.4%
内部精度管理として、検診実施体制 (5) 同様の委員会に年に1回以上参加し	川や検診結果の把握・集計・分析のための委員会 (自施設以外の専門家 <sup>※</sup> を交えた会)を年に1回以上開催していますか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した <sub>レ</sub> ていますか	0	0	$\triangle$	$\circ$	0	0	0	0	0	$\circ$	$\circ$	0	0	0	0	0	73	88.0%
	がん検診の専門家や肺がん診療の専門家などを指します。																		
(6) ※・本調査では <u>令和2年度のプロセ</u>	食率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しましたか <sup>※</sup> <b>ス指標値</b> について回答してください。 値は、自治体等と連携して把握してください。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可です。	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ	73	90.1%
	D遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っていま すか。あるいは、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町 あった場合は、それを参考にして改善に努めていますか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Δ	78	94.09
項目1~5の合計	かりた物口は、てれて参考にして以音に分めていますが																		
(1) 回答(○,×)項目数		35	35	32	35	35	23	35	35	35	35	35	35	35	34	35	22		
(2) 実施(○)の項目数		35	35	32	35	35	23	35	35	35	35	35	35	35	34	35	21		
(3) 未実施(×)、実施予定(z	$\Delta$ )	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8		
(4) 調査対象外(一)の項目数		0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6		
				5				^	^								5		
(5)  評価(未記入は×とみなし	ン <b>より</b> /	A	A	В	A	A	A	A	^	А	А	Α	A	A	В	A	p p		

※各検診機関において、〇〇がん検診の取組状況を調査票に基づき自己評価したものであり、第三者により客観的に評価したものではありません。